



contents

- 〈展覧会紹介〉 特別企画展「水庭に美をあつめて～佐川美術館コレクション～」
- 〈イベント報告〉特別企画展「大どろぼうの家」
- 〈イベント報告〉「未踏破のその奥へ 菱田春草 2つの落葉 特別公開」
- 〈展覧会紹介〉「風景画綺譚」「昭和100年記念 残映ランドスケープ」
- 令和8年度ボランティア新規会員募集
- 実技講座募集
- 展覧会特別メニューのお知らせ
- 休館日のお知らせ

- [2～3]
- [4～5]
- [6]
- [7]
- [8]

表紙：国宝「梵鐘」天安2(858)年 佐川美術館



対岸に比叡山を望む琵琶湖のほとりに佇み、水庭と自然に調和した建物が象徴的な佐川美術館。平和への祈りを仏教伝来の道シルクロードに重ねた日本画家・平山郁夫。一瞬の人間の美を追求した彫刻家・佐藤忠良。桃山時代以来の樂茶碗の伝統に在りながら前衛的な作風を築き上げる陶芸家・樂直入（十五代吉左衛門）。日本を代表する三人の巨匠の作品を中心に収蔵・公開しています。

本展では佐川美術館のコレクションを、全国で初めて一堂にご紹介するものです。平山郁夫の《大唐西域画》（全七面）、佐藤忠良の帽子シリーズや誰もが知る《おおきなかぶ》のレリーフ、樂直入は黒樂・赤樂の他に同館のコラボレーション展「吉左衛門X」で制作された作品など、約70点をご覧ください。さらに比叡山ゆかりの国宝・梵鐘も展示します。佐川美術館の誇る美の数々を心ゆくまで堪能ください。

ART MUSEUM

| 展覧会関連イベント

●手塚雄二特別館長によるギャラリートーク

[当日観覧券必要・申込不要]
2/14④ 午後2時～(約30分)
講師/手塚雄二(福井県立美術館特別館長、東京藝術大学名誉教授、日本美術院同人・業務執行理事)
会場/第4展示室

●佐川美術館学芸員によるギャラリートーク

[当日観覧券必要・申込不要]
2/15⑧ ①午前11時～ ②午後2時～
(各約45分)
講師/井上英明氏(佐川美術館・学芸統括)
会場/美術館展示室

●キッズミュージアム

砂絵で日本画体験ワークショップ
[参加無料(当日観覧券必要)・申込不要]
2/28④ ①午後1時30分～午後2時30分
②午後3時～午後4時
講師/深井千尋氏(佐川美術館・学芸員)
栗田頌子氏(佐川美術館・学芸員)
会場/美術館第4研修室 定員/各回15名程度
対象/小学校中学年以上

●さわってみよう佐藤忠良

[当日観覧券必要・申込不要]
3/1⑧ ①午前10時～午前11時30分
②午後1時30分～午後3時
講師/深井千尋氏(佐川美術館・学芸員)
栗田頌子氏(佐川美術館・学芸員)
会場/美術館ギャラリー

●佐藤忠良を語る

[当日観覧券必要・申込不要]
3/8⑧ 午後2時～(約1時間)
講師/三木俊治氏(彫刻家/元東京造形大学教授)
下崎滋彦氏(彫刻家/北陸学園芸術科教諭)
会場/美術館第1展示室

●クロストークサロン [要申込]

2/28④ 午後5時30分～(約1時間)
講師/栗田頌子氏(佐川美術館・学芸員)、田中亜季(当館展覧会担当学芸員)
会場/Café de musée PAPOTER(カフェドミューゼパポテ) 美術館併設喫茶室
会費/無料(ワンドリンクをご注文ください)
定員/20名(先着)
申込/Café de musée PAPOTER(カフェドミューゼパポテ)へ
お申し込みください

●ナイトミュージアム [要申込]

2/21④ 午後5時30分～午後7時30分
演奏者/クラリネット 豊永美恵氏
主催/ミュージアムショップ
会場/美術館展示室等
料金/4,000円 定員/30名(先着)
申込/ミュージアムショップ
もしくはinfo@greenlab.jpまで

●担当学芸員によるギャラリートーク

[当日観覧券必要・申込不要]
2/21④、2/25⑧、3/4⑧、3/14④ 各午後2時～(約1時間)
講師/展覧会担当学芸員
会場/美術館展示室

※天候等の都合により変更の可能性がございます。詳しくは当館ホームページをご参照ください。



詳しくはこちら



詳しくはこちら

あ
つ
め
て

美
を

水
庭
に



国宝「梵鐘」天安2(858)年 佐川美術館

平山郁夫・佐藤忠良・樂直入

佐川美術館コレクション

2026年
2.14(土)～3.15(日)

会期中無休
開館時間＝午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※2/14(土)は午前10時～

観覧料＝一般 1,300円、高校生 700円、中小生 400円
※未就学児無料 ※20名以上の団体は2割引、他の割引や減免との併用不可
※高校生の方は生徒手帳をご提示ください
※障がい者手帳等をご持参の方とその付添の方1名は半額(観覧券購入時に証明書をご提示ください)
※学校鑑賞会(対象は福井県内学校のみ・要申込)は無料 ※スマホ決済アプリPayPay(ペイペイ)対応
特別協力＝公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団
後援＝福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、こしの都ネットワーク、月刊URALA

ただ今準備中！ 担当学芸員コラム

一つ前の美術館だより第182号を発行してから約3か月が経ちました。2月14日(土)の開幕を直前に控えた学芸員は今何をしているのか。

本展覧会は佐川美術館のコレクションを70点以上もお借りする、とても大規模なものです。さて、冬の展覧会の何よりも心配なこと、それは雪です。貴重な作品を載せたトラックで雪道を走るのとはとてもこわいのです。通常、開幕の1か月～2週間前頃を目安に作品をお借りするのですが、今回はなるべく雪を避けるため、早目の時期に伺いました。そして佐川美術館、日本通運美術専門員のみなさまのご協力のもと、数日間にわたる作品の点検・梱包を経て、無事作品の拝借を終えました。

作品をお借りしただけではまだ開幕できません。原稿執筆など仕事は盛りだくさん、みなさまがこの記事を読んでいる頃もきっと資料の山の中で作業中のことでしょう…。



美術館へ搬入の様子。お借りした作品の中には、身長を超えるものも…。

展覧会の状況などは福井県立美術館SNSでお届けしますので、みなさまぜひご確認ください。

福井県立美術館 Instagram ▶



《イベント報告》



大どろぼうとは、一体誰なのか？

大どろぼうの家

©Maiko Dake

2025.11.22 (土) 2026.1.12 (月祝)

主催 | 大どろぼうの家展実行委員会 (福井県立美術館、FBC)
 後援 | 福井新聞社、月刊 URALA
 ワークショップ協力 | 福井県立美術館ボランティアの会

令和7年11月22日(土)から令和8年1月12日(月・祝)まで、大どろぼうの家展実行委員会(福井県立美術館、FBC)では、特別企画展「大どろぼうの家」展を開催しました。

本展は「大どろぼう」の留守の家に来場者が忍び込むという体験型の展示会で、各部屋の本を手にとって読み、大どろぼうのスタンプを集めるスタンプラリーや、ミッションの遂行などを通し、大どろぼうの正体に迫りました。会期中に忍び込まれた人数は28,716人にのびました。

本展の開催に際し貴重な宝物を「大どろぼう」に盗まれながらも、御支援・御協力をいただきました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。



© Shinsuke Yoshitake



© Shinsuke Yoshitake

県内外47カ所から盗まれた「宝物」たち

大どろぼうは、福井県を中心にさかんに盗みをはたらき、福井県立美術館の「大どろぼうの家」にそれらを収集しました。盗まれたのは、軽井沢安東美術館の藤田嗣治作品2点のほか、県内では46件、約150点の「宝物」です。

被害のあった福井県立歴史博物館ではマスコット犬ジョンの捜索願ポスターが貼られ、福井県立図書館では犯行現場が立ち入り禁止になるなど、各所の様々な被害報告が11月20日周辺で一斉にSNS上に寄せられました。

来館者は、身近なところから盗まれた「宝物」を見ると同時に、犯行現場の爪痕におののき、街全体が「大どろぼう」に震撼する冬となったのです。



© Shinsuke Yoshitake



大どろぼう被害報告マップ(福井市内)

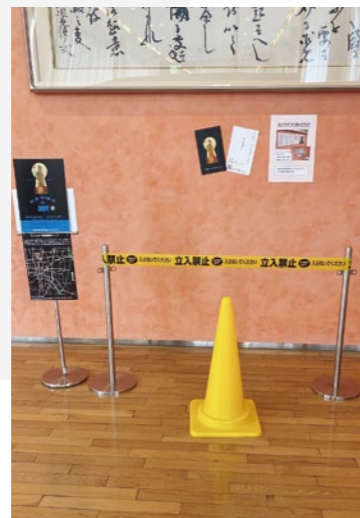
犬 名前 ジョン
を探しています

令和7年11月19日ごろから行方不明

情報
 ・毛色:茶色
 ・犬種:柴
 ・年齢:4歳くらい
 ・性別:オス
 ・足跡が福井県立美術館の方面に残っていました

連絡先
 福井県立歴史博物館 館長
 000000000000

マスコット犬ジョンの捜索願(福井県立歴史博物館)



立ち入り禁止の大どろぼうの犯行現場(福井県立図書館)

大どろぼう

2025/11/22
2026/1/12
福井県立美術館

〒910-0017
福井県福井市文京3丁目16-1

「大どろぼうの家」
福井県立美術館で開催中!

宝物いただきました

犯行現場に残された「大どろぼう」の名刺



大どろぼうの家のなか

福井県立美術館ボランティアの会 30周年記念事業「大どろぼうの家」展関連イベント

令和7年1月で30周年を迎えた福井県立美術館ボランティアの会の記念事業として「大どろぼうの家」展では、ボランティア主催の各種イベントを開催しました。準備にあたっては担当学芸員とボランティアの会会員が前会場に視察に行き、大どろぼうの家を分かりやすく見せる仕掛けとして、スタンプラリーや種明かしトークを企画しました。プレゼントとして準備した「大どろぼう」の名刺も来館者に大変喜ばれました。

●大どろぼうの家 スタンプラリー

【開催日】2025年11月22日(土)~2026年1月12日(月・祝)
 【参加人数】28,716人
 8つの部屋のそれぞれの大どろぼうをイメージしたスタンプを集めるスタンプラリーを開催しました。

●管理人が案内する、大どろぼうの家の「種あかし」

【開催日】2025年11月23日(日)・24日(月・祝)・29日(土)・30日(日)、12月6日(土)・14日(日)・20日(土)・28日(日)、2026年1月10日(土)・11日(日) 各回 午前11時~
 【管理人】佐々木美帆(福井県立美術館学芸員) 加藤敬子、浅原寛子、竹内朋美、山川みか子、塚谷弘美(福井県立美術館ボランティアの会会員)
 【参加人数】333人
 福井県立美術館にある「大どろぼうの家」には、8つの部屋にそれぞれ異なるどろぼうがいるという噂が。館内をよく知る管理人が、家の中の様子を「種あかし」しながら、皆様を安全にご案内しました。

●かくされたハートをさがせ!ハートどろぼう大作戦

【開催日】2025年11月29日(土)午後3時~、2026年1月4日(日)午前11時~
 【講師】佐々木美帆(福井県立美術館学芸員)
 【参加人数】145人
 「大どろぼうの家」の隠されたハートを「ハートどろぼう」のみならず見つける本イベント、1月4日はクイズラリーも交えて行いました。

●どろぼう絵本の読み聞かせ会

【開催日】2025年12月6日(土)・7日(日)・28日(日) 午後2時~ 約20分程度
 【読み手】梅田悦世(日本朗読検定協会 読み聞かせ講師、エテュード朗読教室主宰)
 【参加人数】180人
 「すてきな三にんぐみ」など、どろぼうをテーマにした読み聞かせ会を行いました。

●大どろぼうも愛用 風呂敷包みワークショップ

【開催日】2025年12月14日(土) 午後3時~午後4時
 【講師】山本瑞恵(瑞乃和)
 【参加人数】17人
 歴史から、日常に使える包み方まで風呂敷について幅広く学びました。

●まちなか出張イベント かくされたハートをさがせ!ハートどろぼう大作戦 クイズラリー

【開催日】2025年12月20日(土) 午前10時~午後3時
 【場所】西武福井店、藤の屋文具店、コノジナガヤ(シェアホール)
 【参加人数】150人
 【スタッフ】福井県立美術館ボランティアの会
 まちなかの5か所に設置されたハートに書かれた文字を集め、モナリザを盗んだ大どろぼう「ペルージャ」を探し当てるクイズラリーを実施、ゴールではハートチョコとどろぼう名刺がプレゼントされました。

●宝物はここに 千両箱づくりワークショップ

【開催日】2025年12月27日(土)
 ①午前10時~②午後1時30分~ 約1時間程度
 【講師】内藤秀信(ごじら工房)
 【参加人数】32人

●「大どろぼうの家」ナイトミュージアム

【開催日】2025年12月6日(土) 午後6時~午後8時
 【演奏者】アンサンブル『COLORS』クラリネット:南部匡恵、サクソフォン:片山奈々愛、マリンバ:平岡愛子・山崎智里
 【参加人数】43人
 大どろぼうの家の管理人の案内と、スパイや怪盗テーマのスリル溢れる音楽とともに、大どろぼうの家に潜入。なんとマリンバのぼち(マレット)も大どろぼうに盗まれていたというハプニングもありました。

《イベント報告》



菱田春草
2つの落葉
特別公開

未踏破の
その奥へ

2026年
1/16(金) - 1/28(水)

菱田春草《落葉》(試作)(部分) 当館蔵

近代を代表する日本画家・菱田春草(1874~1911)の作品の中でも、傑作と言われる《落葉》5連作。

令和6年、福井県立美術館では春草生誕150年を記念して、重要文化財を含む《落葉》5連作を一堂に公開し、大変な好評をいただきました。激動の明治美術の中で、誰も為し得ていない新しい日本画を生み出すことを企図して制作された5連作は、今なお人々に愛されています。

この度、当館は5連作の中でも春草が試作的に制作し、重要文化財《落葉》が完成するきっかけとなった《落葉》(試作)を新たに所蔵。48年前に美術館が開館した当時から購入1号作として顕彰を続けてきた《落葉》と併せて、2つの《落葉》が福井の宝となりました。

本展では《落葉》(試作)所蔵を記念し、2つの《落葉》を緊急特別公開。春草が短い画業の中で命を燃やして追求した日本画の新境地を是非ご覧いただきました。



令和7年新収蔵

菱田春草《落葉》(試作)

明治42年(1909) 紙本着色 六曲一双

新しい日本画をつくるという大志を抱きながら、志半ばで病に倒れた菱田春草は、東京・代々木の地にて病氣療養をする中、近所の雑木林(現・明治神宮)を散策し、次なる作品を構想していた。小康を得ると滴を持って、自然を題材にした制作に着手。しかし、思うところがあって筆を止め、視点や構図を変更した作品を新しい屏風に制作して第3回文部省美術展覧会出品、最高賞を受賞し、後に重要文化財に指定される《落葉》(永青文庫所蔵)を生み出した。本作品は連作の中でも六曲一双に初めて描いた試作であり、不朽の名作《落葉》を作り上げるために無くてはならなかった作品。

福井県立美術館 購入第1号作

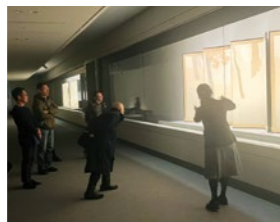
菱田春草《落葉》明治42年(1909) 紙本着色 六曲一双

展覧会での成功の後、伊勢松坂の豪商・小津與右衛門氏の依頼により、《落葉》5連作の最後に制作された作品。左右に広がっていく空間性と、金泥で描かれた葉脈からは、装飾性を重視した画意が伝わってくる。その後の春草が琳派を意識した作風を展開することからも晩年期の方向性を決める契機となった作品。当館では本作を昭和52(1977)年の開館時に購入第1号作として所蔵し、顕彰を続けてきた。



●学芸員によるギャラリートーク

【日時】1月17日(出)午後2時~、24日(出)午後1時~
【会場】美術館展示室
【参加人数】計33人



●マッキー先生の落葉トーク —春草の伝えなかったこと—

【日時】1月18日(出)午前10時30分~/午後2時~、25日(出)午前10時30分~
【会場】美術館展示室
【参加人数】計113人



《関連イベント》

昭和100年記念
風景画綺譚 同時開催 残映ランドスケープ

令和8年3月27日(金) - 5月10日(日)

休館日：3月30日(月)、4月6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)

名所から理想の景色、故郷まで、古くから美術作品の主題として描かれ続けて風景。かつては写真の役割を担って遠い土地の光景を伝え、はたまた幽境に思いを馳せる人々の夢を視覚化してきました。様々な時代、そして国を越えて描かれた山水、風景の様相を辿ります。

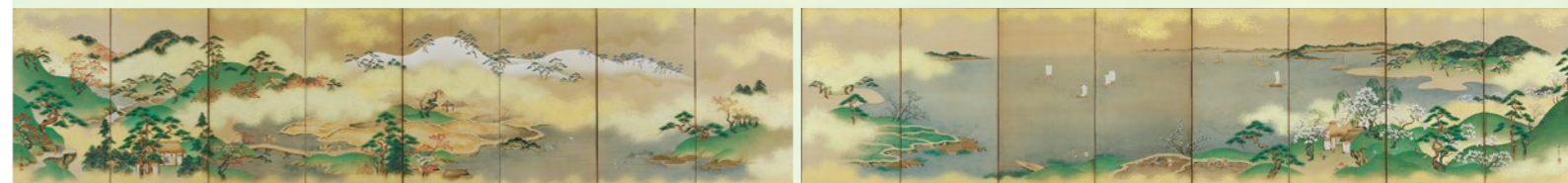
あわせて昭和100年の節目を記念して、激動の時代に描かれた風景を福井にゆかりのある作家の絵画を中心にご覧いただきます。



モーリス・ユトリロ 《ムーラン・ドゥ・ラ・ギャレット》1938年 敦賀市博物館蔵



米谷清和《雪降りしきる》昭和60(1985)年 敦賀市博物館蔵



狩野勝玉 《四季山水図屏風》江戸時代後期 19世紀

令和8年度 福井県立美術館ボランティア 新規会員募集

福井県立美術館では来館者と美術館をつなげる役割を担っていただく「ボランティア」を募集します。ご興味のある方はご応募いただきますようご案内します。

募集の内容	名称	福井県立美術館ボランティア	活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県内外美術館・博物館の図録、年報の整理 2. 新聞、ポスターチラシの整理 3. 展覧会の見どころや作品についての「ちょこっと案内」 4. 展覧会の見どころをSNSで発信 5. 学校等の団体鑑賞、キッズミュージアムのサポートなどの中から、興味のある内容でご活動いただけます。
	募集人数	8名程度		
	活動日	月2回程度(以下のいずれか) 水曜日、土曜日、日曜日、祝日、 各展覧会にて開催されるイベント時など ※オンライン会議を開催する場合があります。		

1. 募集条件

- ・活動開始時18歳以上の県内在住者・福井県立美術館ボランティアの活動方針に沿って、積極的に活動する意欲を持った方
- ・展覧会でのギャラリートークや見どころ解説会、その他フォローアップ研修に参加可能な方
※ギャラリートークや見どころ解説会、フォローアップ研修は主に土曜日に行います。
- ・ボランティア相互連絡のために個人のメールアドレス、携帯電話番号を開示いただける方
- ・オンライン会議、SNSグループに参加可能な方
- ・月2回の活動に参加可能な方
- ・原則無償の活動となります
- ・登録期間は令和9年3月31日までです。(美術館の承認により登録更新も可能です)

2. 募集方法

申込締切…令和8年6月30日(当日消印有効)
HPに掲載の申込書にご記入いただき、メールもしくは郵送でお送りください。追って説明会の日時をお知らせします。
※メールの場合タイトルに「ボランティア応募」と記載、郵送の場合封筒に「ボランティア応募用紙在中」と朱書。

3. 申込先

〒910-0017 福井市文京3丁目16-1
福井県立美術館ボランティア担当
TEL 0776-25-0452
FAX 0776-25-0459
Mail: finearts@pref.fukui.lg.jp

※応募書類はお返ししませんのでご了承ください。
※ご記入いただいた個人情報は募集に関する連絡以外には使用しません。

令和8年度 福井県立美術館 実技講座受講生の募集

福井県立美術館では「日本画」「洋画」「素描(デッサン)・水彩画」の基礎講座(4~5月・10回)と、同内容の専門講座(5~9月・25回)の受講生を募集します。



※詳しくは美術館ホームページ、または館内設置の募集要項をご覧ください。

講座種別	基礎講座			専門講座		
講座科目	日本画講座	洋画講座	素描(デッサン)・水彩画講座	日本画講座	洋画講座	素描(デッサン)・水彩画講座
講座内容	静物	風景・静物	風景・静物	風景・人物・静物	風景・人物・静物	風景・人物・静物
講座定員	15人	15人	30人	15人	15人	30人
対象者	作品制作の初歩的な基礎を学ぼうとする者			作品制作の経験があり、さらに専門的に学ぼうとする者、基礎講座経験者		
受講料	7,500円(納入通知書またはPayPay)			19,000円(納入通知書またはPayPay)		
募集期間	令和8年2月1日(日)~2月28日(土)			令和8年3月23日(月)~4月19日(日)		



日本画基礎



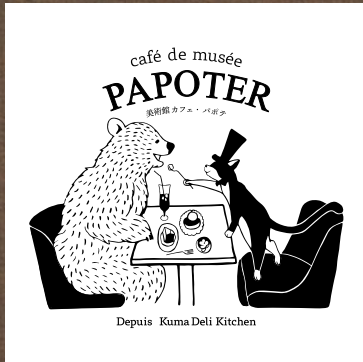
素描・水彩画基礎



洋画専門後期



素描・水彩画専門後期



【営業時間】
午前9時~
午後5時

【定休日】
不定休
* Instagram、
店頭のカレンダー
をご覧ください。



Instagram

佐川美術館展コラボメニュー

佐川美術館の貴重なコレクションを福井で観覧できる貴重な機会。数々の作品の中から、今回は平山郁夫先生の作品に多く使われているラクダのモチーフをラテに表現してみました。ぜひお楽しみください♪



お知らせ

©2026年1月~3月の休館日について

館内メンテナンス、展示替え等のため下記の日程は休館とさせていただきますのでご了承ください。※■は休館日です。

2026年 1月 January							2月 February							3月 March						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				■	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31								29	30	31				



美術館のHPはこちら